

私も老後の生き方に疑問を持つことが多くあって、今日のお話で疑問が解決されてよかったです。在宅医療は良い点を多く感じるけれど、本人の意見を尊重すべきだと思いました。

医者の仕事はたくさんの手を使って命を伸ばすことが仕事だと思っていたが、必ずしも楽しいものとは限らないと知りました。命を救うのは「友達」という事と、社会との「つながり」が寿命伸ばすことから、今のうちから土台を作りつつ、コミュニティーをひろげようと思いました。

医療はサービス業と聞いて確かにと納得しました。また、様々なアドバイスの中で「メンター」に出会う事が、より良い人生につながるのだと思いました。医療にも、「子ども食堂」につながる部分があり、社会はつながっているなど改めて感じました。

死なないように生きることを最後まで諦めず医療を施すことは、本人にとっての本当の幸せなのか？という問題に、私だったら、自分の居たいところで看取られる方が幸せだなと思いました。消えてゆく命を慈しみながら生きることも大切だなと思います。

医者をするだけでもきっと忙しいのに、地域のために様々な取り組みをされていてすごいなと思った。「まちなか保健室」があると気軽に相談できるようになってとても便利な場所になるだろうなと思いました。

病院の仕組みや、実際に周南市で行われている活動を知らなかったのが、知ることができとても良かったです。「しゅうなんまちなか保健室」について調べてみたいなと思いました。

「暮らしの保健室」など、自分が知らないだけで、誰かを支えてよりよく生きられる場所がたくさんあるんだなと思いました。在宅医療は体の動かない人のために医師が直接出向いて治療するんだと思っていたけれど、今日の講義で、住み慣れた場所で自然に亡くなるまでをサポートする「看取り」の役割もあるとわかって、治療することと同じくらい大切なことだと思いました。

普段聞けないお話が来て聞いてよかったです。クリニックが一般的な病院よりデザインにこだわって作られているのが伝わってきました。カフェやライブラリまで一緒につくってあるのは良いなと思いました。学校の保健室のような場所は、大人にこそ必要なものだろうと感じました。

学生時代の成功体験を大切にしたいと思いました。大人になって仕事をするようになったら、誰かの手本になるような人になりたいなと思いました。人生は飛行機という表現、考え方が面白いなと思いました。ふてくされている時間ももったいない。何も残らない。

体験から学ぶことは多く、気づくこともあることがわかりました。自分の強みを伸ばし、それが自分の中心になることがわかりました。今からでも様々なことを体験し、自分の土台を作りたいです。わからない事は自分から学びに行き、自分のスキルアップにしたいと思います。どうにか生かすのではなく、住み慣れた場所、自分の望む場所で、自分らしく生きることを重視し、キュアとケアのバランスをとり、少しでも長い間命を大切にしたいです。常に「もったいいな！」を追求することを大切にしたいです。社会とのつながりを増やす「社会的処方」が注目されていることを知りました。

小野先生のお話を聞いて 若い頃に自分の得意なことを活かして人助けをしたいという目標を持ったということが特に印象に残りました。私は未だはっきりとした夢がなく、好きなことを仕事にできたらなと考えていますが、人のために何かをするという考え方は意識していなかったので、自分の成長とともに、人とのつながりをたくさん経験したいです。また病院や保健室と聞くと少し入りづらい堅い感じがしますが、皆が安心して通えるような工夫をしているところが素敵だなと思いました。

学生時代の成功体験は将来のチームビルディングに生きることを実感しました。若いうちから土台を作っていきたいと思いました。「あ・うんネット周南」は、「あ・うんの呼吸」にちなんでいることが面白いと思いました。私も最後まで精一杯を尽くすことが医療として大事なことだと思っていたけれど、病院で医療

を求めすぎず、住み慣れた街で、最後を迎えることも大切だと思いました。「死なないように生きているわけではない」ことも納得しました。

「しゅうなんまちなか保健室」。医療もサービス業であるのかと思った。若い頃の経験は、将来に生きるのかと思った。総合医の道を目指すなど、道を決める理由は上司によって決まることもあると思う。若い頃から土台をしっかり作り、一つのことを柱として作り上げることがとても大切だと思う。山は大きいからこそ、作り上げられるのだと思う。呼吸器の疾患の方が多く、持っていない知識もある。自分の専門分野でなくても出来ることがある。わからない事は、しっかり学べばよいと感じた。人の生は飛行機のようになっていて、着陸までゆっくりと高度を下げていく。目的地はその人次第だと思う。無理矢理距離を伸ばして目的地を変えるのが良いことなのかと思う。生き方を決める権利があるのであれば、死に方を決める権利もあるのではないかと思う。

住宅看護。地域活動する。地域に寄り添う。

柱を立てる。土台を大きく、基礎が大事。人生の積んだ経験を活かすことは必須。

「柱を作れ」と言うことを大切にしたい。若い頃は教順を作れ。広く浅く。土台作りがまだできていないから、今、将来のために土台を作ることを頑張りたい。いろんな視野を広げて準備していきたい。